



東日本大震災により被災された皆様に謹んでお見舞いを申し上げます。

エスロハイパー現場レポート30 「仮設住宅への配水管敷設延長工事」

釜石市鶴住居町の仮設住宅への仮設配水管として採用された、配水用ポリエチレン管「エスロハイパー」W150」が、融着接合による一体管路形成や柔軟性による生曲げ等の特徴を御評価いただき、延長部分にも採用されました。

施工概要

釜石市水道事業所様から、5月連休中に工事を完了させたいが人手不足とのことで、釜石市管工事組合様での施工に協力し完成した仮設配管の延長部分にも協力要請があり、快諾。

施工は5月施工の配管末端手前からチーズで分岐し、堤防道路法面に露出配管、道路横断や仮設住宅出入口のみ浅埋設。エスロハイパーの柔軟性を利用して道路のカーブは生曲げで対応しベンド類を大幅削減。

橋梁の下越し部分も道路上でベンドと切管をEF接合し、橋からロープで吊下げて、橋の下での接合は2箇所のみとして足場なしでも作業の安全性を確保。約1.8kmを6日間でスピード施工。



5月敷設配管からチーズ分岐



入居済みの仮設住宅横を堤防道路に延長



掘削中に道路上で管をEF接続し、人力で生曲げして溝に投入

バルブ設置とガードレールに沿って曲線配管



橋の上でバンドと切管をEF接合し、ロープで吊降ろして、上の直管と橋の下横断の直管にEF接続



橋から道路への配管(橋側から、及び道路側から)



道路から河川敷の用水路脇にロープで吊降ろし、EF接合



河川敷の駐車場への坂道を掘削して、陸付けしておいた片受直管3本15mを挿入しEF接合

5月に配水管敷設の仮設住宅には入居が始まり、更に着工中の仮設住宅への延長敷設にも微力ながらお役に立てたのではないかと考えます。積水化学は今後も被災地復興のため、復旧支援に全力で取り組んで参ります。